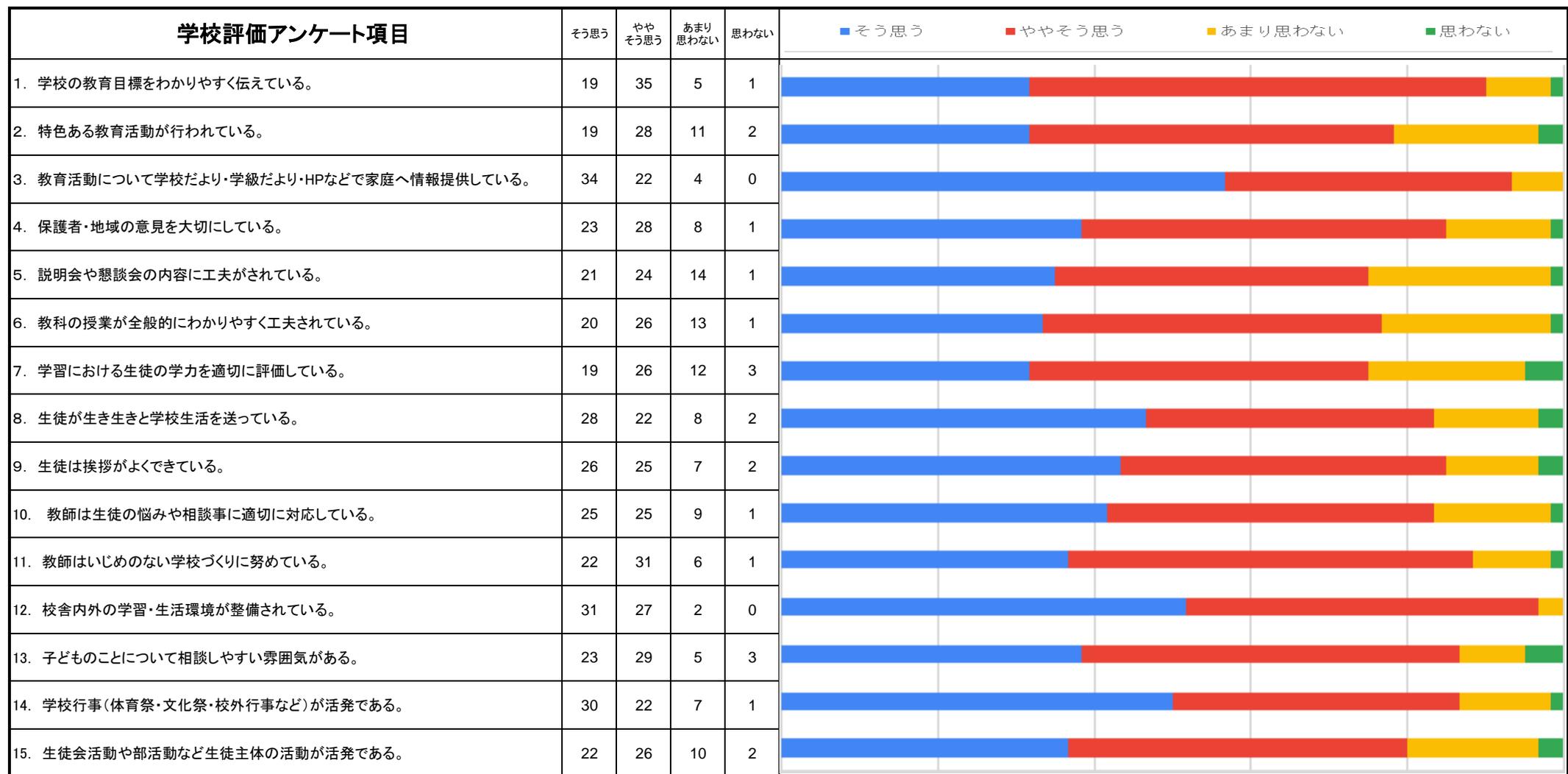


令和3年度学校評価 保護者アンケート集計結果

(回答数:60)



(人)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

<学校評価の振り返り>

【評価の高かった項目】

「3. 教育活動について学校だより・学級だより・HPなどで家庭へ情報提供している」

今後も、できる限りスピーディーかつタイムリー、より丁寧で分かりやすい情報提供ができるように工夫します。なお、以前からお伝えの通り「学校だより」や「お知らせ」は限られた学校予算の効率的な執行に向けて、印刷にかかる経費削減(印刷用紙代・インク代など)を図るため、マチコミと学校HPを中心に配信いたします。「学級だより」はこれまで通りに紙面でお配りします。

「12. 校舎内外の学習・生活環境が整備されている」

学習環境や生活環境の整備は子ども達が安全・安心で健康な学校生活を送るための基本と考えています。今後も継続して、職員による施設設備の点検・修理と、子ども達による日常の清掃活動の徹底や美化活動の活性化にも取り組んで参ります。

【評価の低かった項目】

「2. 特色ある教育活動が行われている」

分散登校を機会としたオンライン授業やタブレット端末を活用する学習活動に取り組んでいます。また、英語科では昨年度より5ラウンド授業を取り入れるなど学習形態を工夫していますが、今後も先進的な取組事例などの情報収集にも努め、本校独自の特色ある教育活動やGIGAスクール構想の推進に力を入れます。

「5. 説明会や懇談会の内容に工夫がされている」

昨年度と同様、コロナ禍により説明会や懇談会を開催する機会を設けることがほとんどできませんでした。来年度は、内容を工夫しながら分かりやすい説明会や懇談会にしたいと考えます。ご参加のほどよろしくお願いいたします。

「6. 教科の授業が全般的にわかりやすく工夫されている」

分かりやすい授業づくりは、教員に求められる最大の責務です。自己研鑽や研修参加に努め、分かりやすい授業づくりに取り組みます。また、子ども同士の教え合いや学び合いの場も計画的に設定するなど主体的に学習に向かう態度の育成にも努めます。

「7. 学習における生徒の学力を適切に評価している」

年度当初のオリエンテーションで「評価項目・評価の観点・評価規準」をきちんと伝えます。また、各授業のはじめには、授業のねらいを明確に伝えて指導と評価が一体化するように努めます。また、子ども達の学力はペーパーテストだけでなく、日頃の学習活動を総合的に評価して、適切な評定につなげていきます。

「15. 生徒主体の活動」

コロナ禍により子ども達の活動機会や活動時間の確保が難しい状況が続きました。来年度は、通常通りの活動保障を目指すとともに、学校行事や生徒会活動・部活動などにおいて、子ども達の主体性を育てる活動場面をより多く設定するなどの工夫を施します。